

「小さな拠点づくり」モデル地区 進捗状況シート

◆ 地区名	久利、大屋	◆ 主要推進組織	久利・大屋地区まちづくり推進協議会(仮称)
◆ 市町村担当課	大田市まちづくり定住課	◆ 県担当課	西部県民センター石東地域振興課

◆ 具体的な取組状況						
	取組内容	R6年度までの到達目標	今年度の実施内容とスケジュール	進捗状況	目標達成に向けた課題	課題への対応策
				県の支援内容		県の支援予定
生活交通の確保	・生活交通の確保(デマンド型自治会輸送の運行、公共交通空白地有償運送への移行)	・両地区共同で自治会輸送に取り組むことにより、生活交通の利便性向上を図る。 ・自治会輸送利用者数(人) (R2)30(R3)35(R4)40(R5)45(R6)50	・大屋地区での試験運行(1~3月)	①大屋地区での試験運行に向けた実施体制・方法等について、関係者協議・検討(12/14.16.24) ②大屋地区利用希望者把握調査(11月下旬済)	・両地区合同での自治会輸送実施に向け、より効率的な運行体制の検討及び運転手の確保	・試験運行により、さらなるニーズ・課題把握を行い、改善点検討 ・コンサル(専門アドバイザー)による支援依頼
	・推進組織の法人化(稼ぐ仕組みとリンクした持続可能な組織づくり)	・外出に不便を感じている(人) (R2)507(R3)300(R4)250(R5)200(R6)152	・住民ワークショップと計画策定(12~3月)	①今後の進め方・方針等検討のため、両地区意見交換会の実施(12/19.12/24) ①両地区意見交換会への出席(12/24)	・法人化に向けた体制構築(人材確保)、ノウハウ不足	・組織形態及び実施体制の検討調整 ・コンサル(専門アドバイザー)による支援依頼 ・先行事例等の収集・情報提供
生活支援の環境整備	・介護予防対策・健康づくり(高齢者サロン・通いの場の充実と高齢者の見守り)	(1)高齢者サロンや通いの場の充実により、高齢者の閉じこもり予防・居場所づくりにつなげる。 ・通いの場参加率(%) (R2)16(R3)17(R4)18(R5)19(R6)20	・サロン、通いの場の運営体制の検討(1~3月)			
	・子育て支援(地域住民との交流による子どもの居場所づくりと見守り)	(2)下校後のバスの待ち時間に子ども達が安心して過ごせる。 ・放課後のコミュニティスペース利用児童数(人) (R2)-(R3)-(R4)-(R5)-(R6)200	(施設整備にあわせ、開始)			
	・買い物弱者対策(購買人口の確保による移動販売者の誘致)	(3)移動販売車の誘致により、移動手段のない高齢者等の買い物の利便性を向上させる。 ・買い物に不便さを感じる住民(%) (R2)40(R3)35(R4)30(R5)25(R6)20	・買い物支援の運営方法検討(1~3月)			
	・多世代交流・多機能拠点施設の整備		(令和5年度から設計整備着手予定)			
助け合いネットワークの構築	・自主防災組織の育成強化(防災意識の向上、災害時の避難体制の整備)	(1)合同で研修、訓練等を実施することにより、防災意識の向上と担い手の増加を目指す。 ・防災士免許保持者数(人) (R2)0(R3)0(R4)2(R5)4(R6)6 ・避難支援等の担い手登録者(%) 【30~64歳人口】 (R2)0(R3)5(R4)10(R5)15(R6)20 【65~74歳人口】 (R2)0(R3)15(R4)20(R5)20(R6)35	・防災に関する合同研修と訓練の実施(1~3月) ・見守り体制構築に向けた検討(1~3月)	①合同研修・訓練開催に係る検討-専門アドバイザーとの調整協議(12/11) ②見守り機器導入検討・協議(12/24) ①他自治体取組(江津市)の情報提供	・両地区の連絡・連携体制の構築	・防災専門アドバイザーによる支援 ・連携体制見える化のための様式作成
	・高齢者等の生活支援(草刈り・除雪等ボランティアの組織化「手ごし隊」)	(2)関係人口増加等により「手ごし隊」の強化を図り、除草、除雪など高齢者の困りごとを解消し、高齢者が外出しやすい環境をつくる。独居高齢者が安全に暮らせる環境つくる。 ・手ごし隊登録者数(人) (R2)4(R3)30(R4)40(R5)45(R6)50	・手ごし隊の募集と運営体制づくり(1~3月)	①手ごし隊の募集のため消防団にチラシ配布(12/18)		
	・鳥獣害対策(猟師の担い手の育成・組織化)	(3)猟師の担い手を地区内で増やすことで、猿や猪の被害を減らし、耕作放棄地の解消につなげる。 ・狩猟免許取得者(人) (R2)0(R3)0(R4)2(R5)4(R6)6	(令和4年度から実施予定)			